

令和8年3月定例会一般質問通告一覧表

< 3月5日（木曜日）質問者 >

通告順1 田中茂樹議員 【一括質問】



市民クラブ：3期
稲保2

1 令和8年度当初予算について

- (1) 令和8年度長岡市一般会計当初予算の予算編成と考え方について
 - ① 令和8年度当初予算の予算編成の狙いと特色について伺う。
 - ② 令和8年度当初予算に対する市長の思いや考え方について伺う。
- (2) 令和8年度当初予算における施策について
 - ① 市制120周年を迎えるに当たっての重点施策と具体的な取組、決意について伺う。
 - ② ミライエ長岡フルオープンや戦災資料館移転、八十里越道路開通など新しい動きが始まることに期待する効果など、市の考えを伺う。
 - ③ コミュニティ活動支援についての取組と市の考えを伺う。
 - ④ インフラ整備関連についての取組と市の考えを伺う。
 - ⑤ 困難を抱える子ども・若者、保護者の支援についての取組と市の考えを伺う。
 - ⑥ 医療体制の充実についての取組と市の考えを伺う。
 - ⑦ 観光・関係人口の拡大についての取組と市の考えを伺う。
 - ⑧ 米百俵のまち長岡の今後の人材育成についての取組と市の考えを伺う。

2 次期長岡市総合計画とまちの価値を高める政策について

- (1) 次期長岡市総合計画について
 - ① 現総合計画の総括について、市の考えを伺う。
 - ② 次期長岡市総合計画のキャッチフレーズ「変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～」に込められた思いと、計画の特色について伺う。
- (2) 人口減少時代におけるまちの価値を高める政策について
 - ① 長岡リジュベネーションの総括と、今後の人口減少対策に関する市の方向性及び具体的な取組について伺う。
 - ② 市民ニーズの把握と対応についての市の考えと取組を伺う。
 - ③ 中核市移行を現段階では判断しない理由を伺う。
 - ④ 中核市移行を現段階で判断しないことを踏まえて、今後のまちの価値を高める政策と市民サービスの向上に関する考え方や取組について伺う。



共産党市議団：7期
三和2

1 令和8年度当初予算等について

- (1) 令和8年度重点施策について
 - ① 令和8年度当初予算の6つの基本目標に基づく重点施策について伺う。
- (2) 地域経済活性化のための企業の人手不足対策について
 - ① 人手不足は重要な課題と認識しており、改めて対応策について伺う。
 - ② 人手不足解消の1つの方策として、外国人人材受入れ体制の強化が必要と考えるが、市の方針を伺う。
- (3) 小・中学校体育館のエアコン設置について
 - ① 小・中学校体育館のエアコン設置は喫緊の課題と考えるが、市の方針を伺う。
 - ② 令和8年2月臨時会における基本設計校数と、今後の市のエアコン設置方針を伺う。
- (4) 奨学金返還支援事業について
 - ① 奨学金返還支援事業の目的と支援内容について伺う。
 - ② 令和7年度の実績と評価について、また8年度の事業展開について伺う。

2 物価高騰緊急経済対策について

- (1) 消費税減税について
 - ① 国に対し物価高騰対策に効果的な全品目消費税5%への減税の実施を求めることについて、市の考えを伺う。
- (2) 暮らしと地域の応援商品券について
 - ① 全ての市民に対する1人当たり1万円分の商品券配付事業の概要を伺う。
 - ② 地域活性化に資する参加店募集方法と応募状況を伺う。
- (3) 住宅リフォーム支援事業について
 - ① 住宅リフォーム支援事業は経済効果が高いと承知しているが、令和7年度の実績と経済効果を伺う。
 - ② 令和8年度のスケジュールを含む支援事業の内容について伺う。

3 長岡戦災資料館等について

- (1) 長岡空襲80年企画の総括、評価について
 - ① 富山空襲を語り継ぐ3世代の親子の講演は、伝承方法の1つと捉えたが、80年企画全体の総括と評価について伺う。
- (2) 長岡戦災資料館の移転整備について
 - ① 新戦災資料館の工事進捗と開館企画などについて伺う。
 - ② 空襲殉難者の遺影常設展示など、新戦災資料館の特徴について伺う。
- (3) 新戦災資料館の平和の発信について
 - ① 他都市との共同企画など平和の発信強化が求められている時期と考えるが、市の方針を伺う。

4 長岡市こども計画について

- (1) 長岡市こども計画策定の背景について
 - ① いじめ、虐待、貧困問題など、子どもを取り巻く状況は深刻化しているが、本計画策定の背景等について伺う。
- (2) 本計画の調査・アンケートについて
 - ① こども基本法では、子どもや当事者の意見を聴取して反映させることになっているが、市の対応について伺う。

(3) 子育て世帯の貧困率11%に対する認識と支援策について

- ① 子育て世帯の生活に関する調査で当市の貧困率は11%とのことであり、適切な支援が必要と考えるが、市の認識と支援策について伺う。

(4) ヤングケアラー支援について

- ① 今回の調査で初めてヤングケアラーに関する質問を設定したとのことであるが、調査結果をどのように捉え、支援につなげるのか伺う。

通告順3 神林克彦議員【一括質問】

1 国などの財源の有効活用について

(1) 地方財政対策について

- ① 令和8年度地方財政対策の受け止め方について伺う。
② 国の令和8年度予算成立スケジュールの影響と市の対応について伺う。
③ 地方財政対策の中で示された有利な地方財政措置の活用判断や実務について伺う。
④ 令和8年度に地方財政対策のメニューの活用が想定される施策について伺う。

(2) 太陽光発電設備普及のための取組について

- ① 本市において太陽光発電設備普及に取り組む意義について伺う。
② 太陽光発電設備普及に向けたこれまでの取組及び令和8年度に予定している取組とその財源について伺う。
③ ペロブスカイト太陽電池に関する取組について伺う。

2 職員人事について

(1) 令和7年度の市職員の確保の現状と課題及び工夫について

- ① 令和7年度職員採用の実績について伺う。
② U・I・Jターンも含めた採用に関する周知の工夫及び合格者の内訳について伺う。
③ 専門職採用のための工夫について伺う。
④ 辞退者防止のための工夫について伺う。
⑤ 採用間もない職員への研修やフォローについて伺う。

(2) 分限処分について

- ① 現在の本市の状況を伺う。
② 休職に至らないための支援、対応について伺う。
③ 分限処分の判断方法について伺う。
④ 復職するための支援及び復職後の支援について伺う。



長岡令和クラブ：2期
岩野



長岡令和クラブ：3期
山古志虫 亀

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

- (1) 再稼働後のトラブルについて
 - ① 今回の制御システムのトラブルについて、市としてどのように考えているのか伺う。
 - ② 東電の連絡・通報等について、適切であったのか伺う。
 - ③ 30年設定ミスが見逃されたことへの受け止めについて伺う。
- (2) 今冬の大雪と原子力災害時における対応の現実性について
 - ① 1月下旬から2月初旬の居座り寒気において、屋内退避や広域避難行動が可能か伺う。
 - ② 原子力災害時において除雪作業ができるのか、方法を具体的に伺う。
 - ③ 山間地などの豪雪限界集落への支援体制が可能か伺う。
 - ④ 事故時の安定ヨウ素剤配布の現状について、市の考えを伺う。
- (3) 柏崎刈羽原発再稼働への市長の認識について
 - ① 県民の再稼働に対する多くの不安に対し、現時点での再稼働への市長の思いを伺う。

2 本市の重要課題について

- (1) 中山間地の方向性について
 - ① 農業政策における小農政策、いわゆる兼業農家の持続が必要であると考えているが、市の考え方を伺う。
 - ② 大雪時における長岡市雪害対策本部の設置基準、並びに災害救助法の適用基準について伺う。
 - ③ 衛星リモートセンシング技術を使った鳥獣対策について、市の考えを伺う。
- (2) 起業・創業支援について
 - ① 中心市街地等で若者や学生を対象とするのではなく、広く市民や長岡全域を対象としたさらなる支援を行うべきと考えるが、市の考えを伺う。
- (3) 環境問題について
 - ① 環境問題3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる取組について伺う。
- (4) 人口減少対策について
 - ① ブラックホール型自治体と言われる首都圏や大都市に対し、一自治体の政策で人口減少対策を行うことは不可能であると認識しているが、当市の考え方・対策について伺う。

3 今後の各種選挙について

- (1) 選挙事務の在り方について
 - ① 職員の負担軽減や市民サービスの向上が必要と考えるが、市の考えを伺う。

4 AI時代における職員の能力の育成について

- (1) 行政におけるAI活用について
 - ① AIが社会に進展する中で、行政におけるAI活用の方向性について伺う。
 - ② AIに頼り過ぎることで、想像力や考える力、市民に対応する力が損なわれる懸念があるが、市の考え方について伺う。



無所属：6期
表町1

1 共助による雪害対策について（分割質問）

(1) 雪害の災害認識について

- ① 毎年降る雪に対しては災害としての危機感が希薄になりがちだが、毎年のように人命が失われている。市として改めて雪は災害であるという強い認識を持つべきと考えるが、市の考えを伺う。

(2) 自主防災会による雪害対応の活動促進について

- ① 災害である雪害への対応には共助の力が不可欠であり、その担い手として自主防災会は極めて重要であるが、本市の自主防災会は、高い結成率に対し活動実績が低い状況にある。毎年の雪害対応を活動に組み込むことは、組織の継続や充実に資するものであり、雪害に対し自主防災会が活動しやすくするための体制整備を行うべきと考えるが、市の考えを伺う。

(3) 自主防災会育成補助金の対象への除雪用具の追加について

- ① 雪害時の共助活動を実効性あるものにするため、自主防災会育成補助金の対象資機材に、現在明記されていない雪庇落としやスノーダンプ等の除雪用具を明確に追加すべきと考えるが、市の考えを伺う。

2 不登校児童・生徒の多様な居場所について（一問一答）

(1) 長岡市の不登校の現状について

- ① 最新の調査結果に基づく、長岡市の不登校児童・生徒の現状と分析について伺う。

(2) 多様な居場所の役割と評価、課題について

- ① 長岡市が設置している教育支援教室（フレンドリールーム）、自立支援スペース（ほっとルーム）、及び中学校区内教育支援センター（いこ〜れ）について、それぞれの施設の役割と現在の評価、及び課題について伺う。

(3) 出席扱いの目的と効果について

- ① 市はガイドラインを運用し、フリースクール等での学習を出席と認める体制を整えた。これを出席扱いとすることで、児童・生徒本人にどのような効果があると考えているか、その目的について伺う。

(4) フリースクール利用料の補助について

- ① 民間のフリースクールも不登校児童・生徒の重要な居場所となっているが、市が出席と認めた学びの場であっても、費用が全額保護者負担である現状は、教育の機会均等の観点から課題がある。市独自にフリースクール利用料への補助を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

(5) 総合計画の指標（K P I）について

- ① 総合計画の指標（K P I）では、「学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合」を現在の85%から90%にする目標を掲げているが、「学校＝楽しい」のみを正解とする目標設定は、居場所を学校外に求める子どもたちへの圧力になりかねない。この指標は現状にそぐわないと考えるが、市の見解を伺う。



市民クラブ：2期
与板町与板

1 担い手不足社会を前提とした長岡市の行政・地域・産業の再設計について

- (1) 担い手不足に対応する「支える人を支える」市政に対する認識と、次期総合計画（案）等における位置づけについて
 - ① 本市における土木・建築、除雪、水道、介護、保育、農業など、市政を支える基幹分野で顕在化している担い手不足の現状について、一時的な人手不足ではなく、人口減少社会を前提とした構造的な課題として捉えるべきと考えるが、本市はどのような認識を持っているのか伺う。
 - ② 市政や地域、産業を支える担い手をしっかり支え、安心して働き続けられる環境をつくること、本市の持続的な発展に直結すると考えるが、この点について本市はどのように捉えているのか伺う。
 - ③ 今後、こうした担い手不足への対応を個別施策にとどめることのないよう、次期総合計画及び個別計画をはじめとする本市の市政運営全体に位置づけ、全庁的に取り組んでいく必要があると考えるが、市の考えを伺う。
- (2) 代替が利かない各分野の担い手確保・定着に向けた本市の支援策について
 - ① 土木・建築、除雪、水道、介護、保育、農業などの分野における担い手の確保や定着に向け、賃金や処遇の改善に限らず、働き方の工夫、業務負担の軽減、技術継承、資格取得支援など、担い手を「支える側」を支える観点から、取組の現状と今後の方向性について伺う。
 - ② 除雪において、消雪パイプの機能低下が進む中、機械除雪への切替えが示されているが、機械除雪のオペレーター自体が不足している現状について、本市はどのように認識しているのか伺う。
 - ③ 水道事業において、老朽管更新を計画的に進めているものの、予算を確保しても施工を担う人材が不足しているとの現場の声がある。こうした状況に対し、本市は今後どのように対応していくのか伺う。
- (3) 担い手不足を前提とした行政運営・事業設計の見直しについて
 - ① これまでの行政運営は、一定数の担い手が確保されていることを前提に設計されてきたと考えるが、担い手不足が常態化する中で、その前提自体を見直す必要性について、本市はどのように考えているのか伺う。
 - ② 事業の進め方や優先順位、民間・地域との役割分担、DXの活用などを含め、担い手不足社会を前提とした行政運営への転換について、本市として今後どのように取り組んでいくのか伺う。



共産党市議団：2期
寿1

1 柏崎刈羽原発再稼働問題について

- (1) 6号機再稼働のトラブルについて
 - ① 6号機再稼働のこの間の経過について市の受け止めを伺う。
 - ② 今回のトラブルについて、安全協定に基づいて東電からの情報提供、または市から東電に情報を求めるようなことはあったのか。あった場合は、どのような情報提供があったのか、またどのような情報を求めたのか伺う。
- (2) 安全協定について
 - ① 再稼働同意権のある安全協定を結ぶことを目指すべきと考えるが、市の認識を伺う。
 - ② 再稼働同意権がないからこそ、本市が危険であると判断した場合は国や県に改めて対応を求めべきと考えるが、市の認識を伺う。
- (3) 避難計画の実効性を高めることについて
 - ① 1月の大雪で避難は困難であることが改めて感じられ、積雪の中での屋内退避も困難であると感じた。避難計画の見直しが必要ではないかと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 避難計画の実効性を高めるための検討状況について伺う。
 - ③ 民間の活動が困難な場合は自衛隊などの実働部隊を活用することになるが、誰が判断し、要請するのか伺う。
- (4) 市町村研究会について
 - ① 市町村研究会の役割は大きくなると考えられるが、今後の取組について伺う。
 - ② 特に再稼働中は、市町村研究会や市として、東電や県などから適宜情報を受け取り、その内容を随時公開すべきと思うが、市の考えを伺う。
- (5) 浜岡原発の不適切事案について
 - ① 今回の浜岡原発における不適切事案に対する市の認識を伺う。
 - ② 柏崎刈羽原発においても同様の不正はなかったか調査を行うよう国に求めるべきと思うが、市の考えを伺う。

2 補聴器購入助成制度について

- (1) 現在の制度の実績・評価について
 - ① 制度導入後の実績・評価、また課題についてどのように認識しているか伺う。
 - ② 現在、国・県で補聴器の使用による認知症予防効果や生活の質向上についての調査研究が進められていると認識しているが、その状況について伺う。
- (2) 長岡市の認知症予防対策について
 - ① 本市が行っている認知症予防対策の具体的な取組について伺う。
 - ② 本制度の年齢制限の上限を撤廃すべきと思うが、市の考えを伺う。



長岡市公明党：3期
青葉台4

1 令和8年度当初予算について

- (1) 当初予算の編成について
 - ① 次期総合計画の初年度令和8年度当初予算に対する市長の思いを伺う。
- (2) 不妊治療・不育治療費助成について
 - ① 不妊治療費助成のこれまでの成果と課題を伺う。
 - ② 不妊・不育治療費の一体的支援の目的と不育治療費助成の対象について伺う。
 - ③ 企業への啓発や社会全体への理解を深めるための取組について伺う。
- (3) 子宮頸がん（HPV）ワクチンの推進について
 - ① HPVワクチンの接種率の推移と評価について伺う。
 - ② 「15歳未満開始で2回接種完了」の周知状況について伺う。
 - ③ 中学2年生への個別通知の追加実施についての見解、また、接種率向上に向けた取組について伺う。
- (4) 人口減少対策強化に向けて設置された定住促進室の役割について
 - ① 定住促進室新設の狙いと期待する効果について伺う。
 - ② 結婚・新生活支援事業の概要と移住定住施策との連動について伺う。
- (5) 奨学金返還支援事業について
 - ① 奨学金返還支援制度と奨学金代理返還制度の推進の実績と評価を伺う。
 - ② 申請手続の簡略化と両制度の効果の最大化に向けた取組について伺う。
- (6) 産業イノベーション事業について
 - ① これまでの取組と成果、課題を伺う。
 - ② ミライエ長岡の産学協創センターを核としたイノベーション創発の概要と期待する効果について伺う。
 - ③ 中小企業のイノベーションを担う人材の確保対策について伺う。
- (7) 介護離職防止対策について
 - ① 介護離職対策の重要性に対する認識と取組を伺う。
 - ② 産業ケアマネ等の専門職の活用や地域包括支援センターと企業をつなぐ相談導線の整備などの検討について伺う。
- (8) 要援護世帯への除雪費用支援について
 - ① 高額な費用負担を懸念して除雪を断念する世帯が存在する実態をどう認識しているのか伺う。
 - ② ワンシーズンの総枠としての助成金限度額内で、1回に充てる金額を自由に選択できる仕組みを導入すべきと考えるが、見解を伺う。
 - ③ 助成対象に車庫・カーポートの除雪費用を追加すべきと考えるが、見解を伺う。
- (9) 学校体育館へのエアコン整備について
 - ① 整備方針とスケジュール感について伺う。
- (10) 防災対策について
 - ① 市民主体の避難所運営体制の整備推進について伺う。
 - ② 避難者支援システムの概要と運用について伺う。

(11) 公共建築物の予防保全・長寿命化について

- ① 予防保全として本来対応すべき判断基準について伺う。
- ② 現状に対する認識と改善に向けた対策について伺う。

< 3月9日（月曜日）質問者 >

通告順9 長坂将志議員 【一括質問】



共産党市議団：1期
北荷頃

1 今冬の大雪に対する対応について

- (1) 大雪に対する対応について
 - ① 今冬の大雪について、現在までの状況と対応について伺う。
 - ② 災害救助法が適用になるまでの過程について伺う。
 - ③ 住宅被害を受けた方に対する被災者生活再建支援制度の概要と今冬の大雪への適用について伺う。
- (2) 要援護世帯除雪費助成事業について
 - ① 要援護世帯除雪費助成事業の今冬におけるこれまでの実績と課題について伺う。
 - ② 要援護世帯除雪費助成事業において、助成回数等の拡充に至った市の考えと内容の詳細について伺う。
- (3) 住民への周知について
 - ① 大雪に関する注意喚起など、住民への周知について伺う。

通告順10 高橋美里議員 【一括質問】



長岡令和クラブ：1期
十日町

1 障害者就労支援に係る計画・政策設計の在り方について

- (1) 障害者就労支援及び一般就労の政策上の位置づけについて
 - ① 障害者就労支援について、本市はどのような政策目的の下に位置づけているのか伺う。
 - ② 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画では「就労移行支援の利用を増やし、一般就労を増やす」としているが、本市として一般就労をどのように位置づけているのか伺う。
- (2) 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗及び評価について
 - ① 第7期計画に掲げる一般就労移行者数の目標値に対する令和6年度及び令和7年度の実績並びにその評価について伺う。
 - ② 一般就労移行者数のみではなく、就労定着支援利用後も含めた就業定着率、就労先の業種傾向など、一般就労の質の向上の観点から分析が必要であると考え、現在どのような分析を行っているのか伺う。
 - ③ 就労継続支援A型・B型事業所数及び利用者数の推移並びに就労移行支援事業所数及び利用者数の推移について、第7期計画の目標との関係をどのように整理しているのか。また、就労継続支援B型における工賃水準等を含め、働く側の生活の質の向上という観点からの評価をどのように行っているのか伺う。
 - ④ 障害者就労支援の成果について、本市はどのような指標または判断基準をもって評価しているのか。また、その評価結果をどのように次期計画の目標設定に反映させているのか伺う。

(3) 雇用対策協定事業計画との整合性及び横断的評価について

- ① 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画において一般就労の増加を目標としているが、雇用対策協定に基づく事業計画の人材確保施策はこれと関連づけて整理しているのか、市の見解を伺う。
- ② 第7期計画及び雇用対策協定事業計画それぞれの目的・評価指標について、共通の視点・横断的な評価の枠組みが必要と考えるが、現在どのように連携し、政策全体として整合を図っているのか、市の取組と見解を伺う。

(4) 制度運用及び企業支援体制の在り方について

- ① 企業側が雇用後に直面する課題や支援ニーズについて、本市はどのような方法で把握しているのか。また、その把握結果を市内部及び関係機関との間でどのように共有・連携し、支援体制の見直しや計画策定に反映させているのか伺う。
- ② 一般就労後の定着を支えるための支援制度として、就労定着支援、障害者就業・生活支援センターによる定着支援、ジョブコーチ支援等があるが、それぞれの役割及び利用の流れはどのようなになっているのか。また、定着支援につながらないケースについて、課題などをどのように認識し、それに対し市としてどのように対応しているのか伺う。
- ③ 就業定着に関する支援制度が本人登録を前提としている中で、企業側のみからの相談や支援希望があった場合、本市はどのように対応しているのか。また、制度上の制約によって支援が行き届きにくい場合、市独自の補完的支援策についてどのように認識しているのか、市の見解を伺う。
- ④ 令和8年7月の法定雇用率引上げを踏まえ、第8期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画及び雇用対策協定に基づく次期事業計画において、働く側と雇う側の双方を一体的に支える視点を反映させていく必要があると考えるが、どのように連携し、計画に反映していくのか、市の考えを伺う。

通告順 1 1 関 充 夫 議員 【一括質問】

1 持続可能な行財政運営について

- (1) 長岡市公共建築物適正化計画について
 - ① サウンディング型市場調査について、民間事業者にインセンティブを与えるべきではないかと考えるが、市の考えを伺う。
 - ② 公共建築物について、市域全体を見ての配置の在り方を示すべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ③ 売却・譲渡について、無償譲渡や廉価での売却・譲渡を進めるべきと思うが、市の考えを伺う。
- (2) 次期持続可能な行財政運営プランについて
 - ① 職員削減については、業務や部署を先に減らすべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 地域間で異なる制度の統一をどのように図っていくのか、市の考えを伺う。
- (3) 財政見直しについて
 - ① 財政見直しが悪化したことについて、原因をどのように考えているのか伺う。
 - ② 繰越金について、基金の大幅な取崩しをする前に、当初予算に反映させるべきと考えるが、市の考えを伺う。
 - ③ 基金の一括運用をすることで収入増を図るべきと考えるが、市の考えを伺う。



長岡令和クラブ：5期
吉崎

通告順 1 2 大 竹 雅 春 議員 【一括質問】

1 子どもの居場所づくりについて

- (1) これまでの子どもの居場所づくりについて
 - ① 放課後子ども教室の取組の成果と課題について伺う。
 - ② 地域における中高生の居場所の現状と、市の認識について伺う。
- (2) ミライエ長岡における中高生の居場所について
 - ① 設置の目的について伺う。
 - ② 運営体制及び利用方法などの考え方について伺う。
 - ③ これまでの取組と準備状況について伺う。
 - ④ 教育機関や福祉・子育て部門との連携について伺う。
 - ⑤ 利用促進のための工夫について伺う。
 - ⑥ 地域・企業と連携した継続的な運営について伺う。



無所属：3期
小国町新町



無所属：1期
関原町1

1 P T A入退会完全自由化を実現するための諸問題について

(1) 通知された同意書について

- ① 以前の一般質問を受け、P T A会費徴収に関する口座情報の提供については、書面による同意確認を行う旨の通知がなされた。しかしながら、P T A活動においては、登校班名簿の作成など、口座情報以外にも学校が保有する児童・生徒情報が活用されている実態があると考えられる。口座情報以外の情報提供についても、明示的な同意を要すると思われるが、見解を伺う。
- ② 現在想定される同意確認の時期は、特段の定めがないと理解している。P T A会費の支払いが入学直後から発生することを踏まえると、同意書を入学前説明会資料に同封するなどの運用を提案するが、見解を伺う。
- ③ 今回通知された同意書の様式について、入会を前提とせず、例えば入会意思のある方のみ回答くださいといったような注意書きを入れるなど、任意性をより明確に示す表現に見直す余地があると思われる。とりわけ、現行の入会方式は市内1校を除きオプトアウト型であり、その法的有効性については確定的な整理があるとは言い難い状況にあると認識している。そのような中で、入会が成立していることを前提とする文書を学校が配付することは、学校の中立性や行政としての法的安定性の観点から慎重であるべきと思われるが、見解を伺う。

(2) P T A活動と公教育における責任範囲の整理について

- ① 他市の事例であるが、P T A会計を確認すると、学校教育に必要と考えられる物品や事務関連費用が支出対象となっている例が見受けられる。本来、教育活動に必要な物品は、公費もしくは学校諸経費として措置されるものと思われるが、見解を伺う。
- ② P T Aが学校施設の外で会員向けのイベントを開催するのは、任意団体としての自由だと考える。一方でP T A活動の中には、卒業式のコサージュ配付など、学校行事に実質的に組み込まれている活動が存在する。学校行事において、児童・生徒間の扱いに差異が生じ、一部児童・生徒の精神的苦痛が予測される場合、学校としてどのような判断責任を負うと整理しているのか、見解を伺う。

2 持続可能な選挙執行体制を維持するための投票区見直しについて

(1) 現在の投票区の設置状況について

- ① 現在の投票区は、合併後に市内全域で統一的な設置基準を策定した上で配置されたものなのか、あるいは合併前の旧市町村における投票区配置を実質的に踏襲しているものなのか、現状の考え方を伺う。

(2) 投票区間の実態について

- ① 有権者数が最も多い投票区と最も少ない投票区はそれぞれ何人か伺う。
- ② 当日投票者数が最も多い投票区と最も少ない投票区はそれぞれ何人で、その差は最大で何倍生じているのか伺う。
- ③ 投票者数に応じて職員配置を調整しているのか、最低配置人数は何人なのか、投票区の職員配置の基本的な考え方について伺う。

(3) 投票区見直しの必要性について

- ① 人口減少及び職員数の減少が進む中で、選挙事務を将来にわたり安定的かつ持続的に執行していくためには、合理化の視点も必要であると考えますが、有権者の利便性を著しく損なわないよう配慮することも重要である。今後投票区の在り方について一定の見直しを検討する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

通告順 1 4 松野 憲一郎 議員 【一括質問】

1 クリーンセンターから排出される破碎鉄と燃やすごみの収集について

(1) 破碎鉄の処理について

- ① 最終的に破碎鉄となる場所に相当の異物（ビニールくずや燃やさないごみの指定袋）が混ざっている実態を確認した。今後改善が必要と感ずるが、本市の認識について伺う。
- ② 長岡には電気炉で鉄を熔解できる事業者（会社）がありながら、破碎鉄以外のものが多く混ざっていることから引き取っていただけない現状であるが、本市の受け止めについて伺う。
- ③ 燃やさないごみに燃やすごみが混ざっていることで、破碎鉄に混ざり引き取っていただけないことから、地域循環型社会に結びついていないと考えるが、本市の循環型社会に対する認識を伺う。
- ④ 回収した燃やさないごみはリチウムイオン電池が混入している可能性があることから、燃やさないごみの袋の中身を1つずつ出してチェックしていることを私も確認した。しかし、燃やさないごみの袋がそのまま破碎鉄処理のルートに回っていることから、破碎鉄にビニールが多く混ざる要因になっていると感ずるが、本市の課題認識と今後の対応について伺う。

(2) 燃やすごみの収集について

- ① 本市は新潟県内の中でも燃やすごみを回収する日が週に1回と、非常に少ない現状である。県内自治体の状況を調べると、おおむね2～3回（新潟市、上越市、三条市、見附市など）回収しているところが多いが、仮に本市が、他のごみの収集頻度を変えずに燃やすごみを1回増やし、週2回に回収を増やすと経費はどのくらいかかるか伺う。
- ② 燃やすごみについては年々排出量が減少傾向にあると聞くが、別のごみの収集日に燃やすごみを混ぜて排出していることもあることから、燃やすごみの収集回数を1回増やすべきと考えるが、本市の認識について伺う。



長岡令和クラブ：2期
学校町3

2 鳥獣被害対策について

(1) 熊の個体管理の方向性について

① 環境省は指針改定案でこれまで保護重視してきた方針を転換し、個体管理を強化するとしているが、本市の今後の方向性について伺う。

(2) 不要果樹の伐採について

① 2025年の新潟県の堅果類の結実状況は、ブナが大凶作、人里や市街地への熊大量出没が大きな問題となった2023年の過去最悪の結実の状況と酷似しているとのこと。そして、今後も不順な天候やナラ枯れにより堅果類の量や質が減少や劣化することも懸念されると言われている。昨年、2025年は熊の出没が多くなった栃尾地域で不要果樹の伐採が進んだと聞くが、今後も気候変動やブナや栗などの堅果類の不作により、熊等の鳥獣が人里や市街地に出没することが考えられることから、市内全域で不要果樹の伐採に取り組むことを加速させることが急務であると考え、本市の認識と今後の不要果樹伐採制度の周知について伺う。

3 公共施設の設備管理について

(1) 高圧ケーブル性能劣化について

① 2024年に新潟地検や新潟地方法務局が入居する新潟地方法務総合庁舎で高圧ケーブルの不具合が原因と考えられる停電が発生した。また、2025年には新潟県立図書館でも同様の原因で停電が発生し、復旧に時間をかなり要した。さらに最近では、柏崎市で公共施設である中学校や市総合体育館などでも同様に高圧ケーブルの性能劣化が原因とされる停電が相次いでいるとマスコミ報道があった。今事案は、学校などの教育機関や体育施設など公共施設全般に関わる重要なことであることから、県内各地で起きている高圧ケーブル性能劣化に対する関係部局への周知状況について伺う。

② メーカーが特定されているようであるが、本市の対応状況と管理状況について伺う。

4 運動施設を活用した新たな取組について

(1) 運動施設への広告看板の設置について

① 近年、全国の自治体は、財政が厳しさを増しており、施設の維持管理や改修に必要な財源を確保することが大きな課題となっている。広告看板の設置は、新たな自主財源の確保につながるだけでなく、地元企業や団体のPRの場ともなり、地域経済の活性化にも寄与すると考えるが、本市の運動施設への広告看板設置に対する認識と課題について伺う。

② 広告看板の設置は、運動施設の利用者にとっても企業や団体とのつながりを感じられることで、施設への愛着や利用促進につながると思う。特に地元企業の看板を掲示することで、小学生、中学生、高校生が日常的に地元企業の存在を知る機会が生まれる。自分たちの住む長岡でどんな企業がどんな仕事をしているのかを知る機会を決して多くない。看板を通じて地元の企業名や事業内容を目にすることで、この会社は何を作っているのだろう、この企業は地域でどんな役割を果たしているのだろうといった興味や関心が生まれる。これは将来の職業観の形成や地元就職への意識醸成にもつながると考える。そこで、運動施設への広告看板設置を早急に進めるべきと考えるが、今後の方向性について伺う。

通告順15 衣川 広志 議員 【一問一答】



無所属：1期
悠久町1

1 困難な問題を抱える女性への支援の在り方について

- (1) 行政運営における効率性の原則と生理用品の無償提供の効率性について
 - ① 本事業の対象と既存の生活困窮者支援との違いについて伺う。
 - ② 無条件・無記名で配布することによる公平性や政策目的の観点から、どのように整理しているか伺う。
 - ③ 本当に困難を抱えている女性に支援が届いているかは効果検証が不可能だと考えるが、市の認識を伺う。
 - ④ 具体的な生活相談に結びついた事例はあるか伺う。
 - ⑤ 何らかの受取ルールや困難を抱える女性の利用が多い施設への設置など、工夫が必要だと考えるが、市の認識を伺う。
 - ⑥ SNS広告やポスター啓発などで広く発信し、相談窓口へつながった後に必要な物資を支給するほうがより多くの困難を抱える女性を救うことができると考えるが、市の認識を伺う。

通告順16 関 貴志 議員 【一問一答】



無所属：7期
信濃2

1 持続可能な行財政運営プランについて

- (1) 第1期プランの結果と今後の見通しについて
 - ① 来年度以降、第2期の持続可能な行財政運営プランが実施され、市民負担の増大が予定されている。市民の負担増を求めるに当たり、その理由をしっかりと説明する必要がある。現行の第1期プランは89億円あった財政調整基金（財調）が3年で半分以下になったことから策定され、本年度で終了し、来年度から第2期プランが実施される。現行プランの実施で財政収支が均衡する計画であったが、最終年度の令和7年度予算では計画よりも26億円の収支不足となったことから、その要因を伺う。
 - ② 令和5年度の財調残高は、コロナ禍によりプランで想定した47億円の倍以上となる99億円まで積み上がったが、第2期プランを実施しない場合は令和12年度に枯渇する見込みが示された。第1期プランを実施しても財調が急減する要因は何か伺う。
- (2) 市町村合併後の行財政改革について
 - ① 合併効果として行財政基盤の強化が説明されていた。また、合併から15年間は財政支援が得られる特別な期間であったが、合併から15年たっていない段階で第1期計画が必要となった。合併後の行財政改革の取組について伺う。
- (3) 第2期プランに臨む姿勢について
 - ① 第2期プランは市民に大きなインパクトを与える。行財政改革を進めた新潟県や新潟市のよう、特別職や職員の給与減額についても検討すべきだが、考えを伺う。

2 中核市について

(1) 中核市への移行の判断について

- ① 市が中核市への移行の是非を調査しているタイミングで、市長は1年半前の選挙において中核市を目指すと公約した。市長としての思いと行政の判断は別の説明であったが、このたび現時点で中核市への移行の判断は行わないとした結論は、市長の思いとしての判断か、行政の判断かを伺う。

3 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

(1) 市長公約について

- ① 市民の不安が解消されない限り原発は再稼働すべきでないとの姿勢を貫くとの市長の公約には、市民の不安が解消されない場合には再稼働を止める思いも込められているとの説明があった。再稼働を止める手段としては事前了解権の獲得ではなく、再稼働の是非を問われる知事に長岡市の意向に従ってもらおうとの答弁を続けてきたが、昨年11月に市長は知事に再稼働判断は時期尚早と伝えたにもかかわらず、知事は再稼働容認の判断を下した。昨年の12月議会で知事の判断に反映できなかったことについて、反省点は整理がついていないとの答弁であったため、反省点について伺う。

(2) 今後の取組について

- ① 市長の意向に反して再稼働した原発に対する今後の取組について伺う。